

札幌市では、全ての市立幼稚園・認定こども園・学校における子どもの発達の段階を踏まえ、創意工夫を凝らした特色ある教育活動等を進めるために、特に重点となる施策や教育内容について定めています。令和4年度の重点について、お知らせいたします。

目指す人間像

自立した札幌人



- 未来に向かって 創造的に考え、主体的に行動する人
- 心豊かで 自他を尊重し、共に高め合い、支え合う人
- ふるさと札幌を心にもち、国際的な視野で学び続ける人

SAPP
PRO

令和4年度 札幌市学校教育の重点

※本紙では「幼保連携型認定こども園」は幼稚園の段階に相当するものとします。

【基盤】人間尊重の教育

全ての教育活動において重視します。

- ・さっぽろっ子「学び」のススメの活用（学校と家庭・地域をつなぐ取組の継続）
- ・「小中一貫した教育」の推進（9年間を見通した系統性・連続性のある教育）
- ・ICTを活用した教育の推進（1人1台端末の効果的かつ積極的な活用）

知・徳・体の調和のとれた育ちを推進します。

学ぶ力の育成では

分かる・できる・楽しい授業づくりの充実を進めます。
①「子どもが自ら考え、判断し、表現する学習活動」の充実
②「自分への自信につなげるきめ細かな指導」の充実



豊かな心の育成では

互いに尊重し、支え合いながらよりよく生きようとする態度を育みます。
①考え方、議論する道徳の充実
②命を大切にする指導の充実
③迅速かつ組織的ないじめへの対応
④不安や悩みを抱えた子どもを支える教育相談体制の構築

健やかな体の育成では

生涯を通じて運動に親しむための基礎を培うとともに、積極的に心身の健康の保持増進を図る資質・能力を育みます。
①体力・運動能力の向上
②部活動の質的充実
③食育など、健康に関する指導の充実
④性に関する指導の充実



札幌らしい特色ある学校教育を推進します。

札幌らしい特色ある学校教育は、全ての市立幼稚園・認定こども園・学校が共通に取り組む札幌の自然環境・人的環境・文化的環境などを生かした学習活動です。

札幌らしい特色ある学校教育の中核となる三つのテーマと推進のための三つのキャラクター



子どもの発達への支援を推進します。

- 子ども一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育
- 新たな不登校を生まない未然防止の取組と組織的・計画的な不登校支援
- 帰国・外国人児童生徒等に対する教育の充実



信頼される学校の創造を推進します。

- 家庭や地域とともにある学校づくり（さっぽろっ子「学び」のススメ、学校評価の活用など）
- 安全教育（子どもが危険から自ら身を守ろうとする態度や能力の育成など）
- 教員の資質・能力の向上（学び続ける教員の育成、研究・研修による資質・能力の向上など）



教科等の枠組を越えた教育を推進します。

- 進路探究学習（キャリア教育）（生き方や進路について考える学習、キャリア教育の充実など）
- 国際理解教育（外国語教育の充実、異文化理解の深化、平和に関する教育の充実など）

子ども一人一人が
「自分が大切にされている」と実感できる学校づくり

人間尊重の教育

学校も、家庭・地域も、まほうのかいわを合言葉に
子どもの成長を促していきましょう

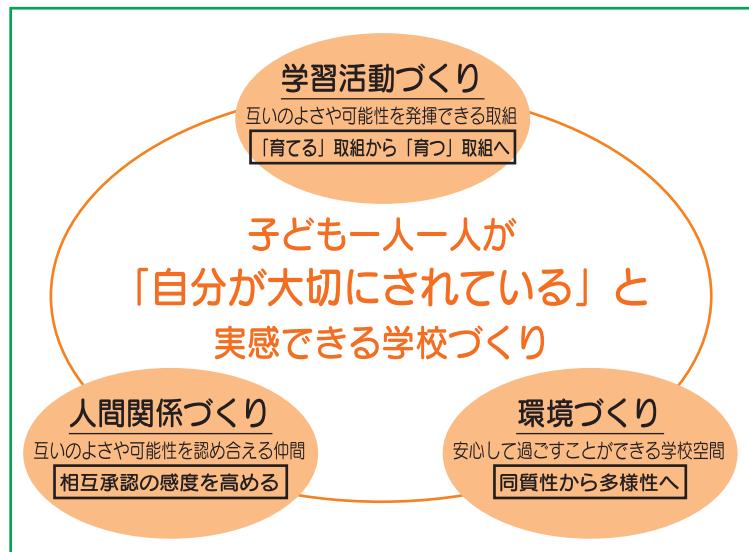


子ども一人一人が「自分が大切にされている」と実感できる学校づくり

**1 大人自らが人間尊重の意識を高め、
子どもが安心して過ごせる学校づくりに参画します。**

2 子どもの発達の段階に応じて、学校・家庭・地域が一体となって、自尊感情と他人を思いやる心を醸成します。

3 多様な体験活動を通して、子ども自身が自分を振り返り、人間尊重の意識の高まりに気付く取組を推進します。



子どものよりよい成長を願って

子どもは、どの子もよさや可能性をもっています。

子どもを他者と比較するのではなく、その子自身の成長を認めていくことが大切です。

子どもに寄り添い、伸びを認め、意欲を高める共感的・肯定的なメッセージを伝え、子どもの成長を促していきましょう。



ま 学んだことを一緒に振り返りましょう。

ほう 方法を一緒に考えましょう。

の 伸びを認め、ほめましょう。

かい 改善に向けて、生活を一緒に振り返りましょう。

わ わからないこと、できないことに挑戦できるよう励ましましょう。

※学校と家庭・地域をつなぐ、「さっぽろっ子小中一貫したつながりのススメ」や、「さっぽろっ子 ICT 活用のススメ」も御活用ください。

就学援助・札幌市奨学金等のお知らせ

札幌市教育委員会では、小中学生の学用品費などを助成する就学援助や、高校・大学生などを対象とする札幌市奨学金など、子どもの学びを経済的な面から支える取組を行っております。

札幌市奨学金は、市民の皆様からの寄付金を基金に積立て、その運用益を返還不要の奨学金として支給しております。皆さまの御厚志により、昭和26年の制度創設以来、多くの生徒・学生の方がこの制度を利用し、社会で活躍されております。

札幌市の公式ホームページに各種助成制度を御案内しておりますので、是非ご覧ください。
<http://www.city.sapporo.jp/kyoiku/top/hojo.html>

